

特殊詐欺の認知状況（令和3年10月末）

- 前年同期と比べ、50件の被害増加！ -

1 県内の特殊詐欺の認知状況（令和3年10月末）

- 被害認知件数は**77件**（前年同期比+50件）
- 被害総額は**約2億3,330万円**（前年同期比+約1億3,201万円）

2 令和3年10月の認知状況

- 被害認知件数は**10件**（前年同月比+8件）
- 被害額は**約839万円**（前年同月比-約581万円）
- 手口は
 - ・ 預貯金詐欺 ～1件
 - ・ 架空料金請求詐欺 ～6件
 - ・ 還付金詐欺 ～2件
 - ・ 融資保証金詐欺 ～1件

3 県内の特殊詐欺の傾向（令和3年10月中）

10月中は、「パソコンがウイルスに感染しましたので、除去費用として電子マネーを購入してください」などといった架空料金請求詐欺を中心に、多種多様な被害を計10件認知しました。

また、被害は確認されていないものの、県内各地で「オレオレ詐欺のような電話がかかってきた」という相談を多数受理しています。

電話でお金のお話が出たら要注意です！！一旦電話を切って、家族や警察に相談してください。

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和3年10月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	-	1	1
20～29	1	2	3
30～39	-	2	2
40～49	2	2	4
50～59	6	10	16
60～64	7	8	15
65～69	6	20	26
70～79	1	6	7
80～89	1	2	3
90～	-	-	-
合計	24	53	77
うち65歳以上の高齢者	8	28	36

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和3年10月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	47
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	4
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	-
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	24
キャッシュカード手交型	2
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	-
合計	77